

3 類型	鉦工業品	通巻番号	5 - 2 1 - 0 3 5
地域資源名	京座布団	認定日	平成 2 2 年 2 月 1 6 日
地 域	京都府京都市	所管省庁	経済産業省

事業名：京座布団作りの伝統と技を活用した「おじゃみ座布団」改良商品の開発、製造及び販売

会社名：株式会社高岡 所在地：京都府京都市下京区五条通
連絡先：TEL：075-341-2251 油小路東入金東横町242
FAX：075-341-2255 HP：http://www.takaoka-kyoto.jp

事業概要（新たな活用の視点）

・当社は、創業以来、「京座布団」の職人仕立てにこだわり、人のくつろぎかたを考慮し、現在の住空間、進化する和感覚に沿った座布団の商品開発を行ってきた。

・平成19年に開発した「おじゃみ座布団」は正座でも胡座でも楽な姿勢で座れる商品であるが、長時間使用による“へたり”等の課題があった。

・本事業では、京座布団の特徴である座り易い座面と耐久性の維持のために「形状や大きさに合った中綿（中材）を吟味して詰める技術」と、京座布団を製造するための「くける・とじるなどの縫製技術」を高度に発展させて活用し、へたりにくく楽に長く座れる・正しい姿勢が保てる・好みの素材・色・柄を選べる等の複合機能を有する「改良版おじゃみ座布団」を開発、販売する。



【おじゃみ座布団】

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

競争力

・楽に長く座れる・正しい姿勢が保てる・好みの素材や色を選択できる等、複合機能を付加した商品で、インテリア業界にも寝具業界にもない優位性のある商品である。

市場性

・床座から椅子座のライフスタイルが定着しているが、座布団やクッション等の用品を使用している人は多い。

・洋風化された住空間にも合い、持ち運びも容易に出来る「おじゃみ座布団」はニーズに適した商品である。

販路

・従来から当社が販路としていた百貨店の寝具部門以外にリビング・インテリアショップ等、新しい販路の開拓を目指し、更に海外展開も視野に入れる。

地域資源における関係事業者との連携

・開発・改良については、地元の大学とも連携し、材料調達、生産については地元事業者との協力をベースに進める。